CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますよう
お願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

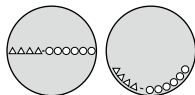
シチズンのホームページ(http://citizen.jp/)でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合
があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただ
けます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上
からなる番号が刻印されています。(右図)
この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が
機種番号になります。右の例では「 △△△△ 」が機種番号
です。

刻印の位置の例

△△△△-○○○○○○

△△△△-○○○○○○

時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために―必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、56〜67ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

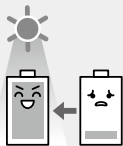
⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

時計をご使用になる前に、必ず以下の3つのことを行ってください。

● **現在の充電量を確認する→*16*ページ**
現在の充電量が十分か確かめます。

● **ワールドタイムを設定する→*18*ページ**
時刻･日付を表示したい地域を都市または時差から選びます。

● **電波受信の結果を確認する→*17*ページ**
前回の電波受信に成功しているか確かめます。

この時計は、文字板に光を当てて充電します。
時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。
充電については***10***〜***15***ページをご覧ください。

日本語

▌バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

▌保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

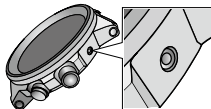
▌特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

- 金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

もくじ

この時計の特長

電波時計
世界4地域5局の送信所からの電波を受信して、正確な時刻·カレンダーに自動で修正します。

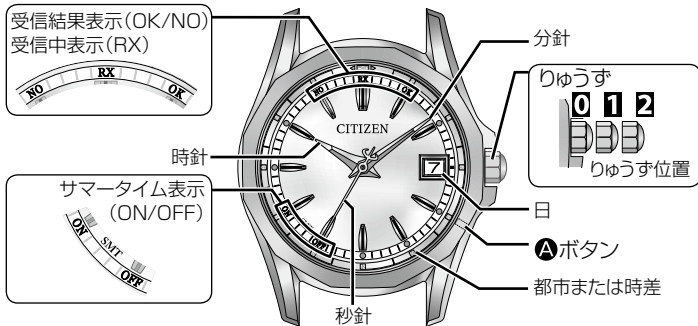
ワールドタイム
時差や都市を設定するだけで、世界各地の時刻を簡単に表示できます。

エコ·ドライブ
光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。

Perfex(パーフェックス)
衝撃や磁気による針のずれを防ぎ、正確な時刻表示を保ちます。

パーペチュアルカレンダー
月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。
うるう年も自動で更新します。

＊ 「エコ·ドライブ」「Perfex(パーフェックス)」は、シチズン独自の技術です。

各部の名称

お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

充電について

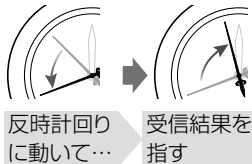
この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。

充電量の確認（→***16***ページ）や受信結果の確認（→***17***ページ）の操作で、**秒針が反時計回りに動いたら、充電が不足しています。**

通常通りの操作をすることはできますが、**光に当てて充電してください。**

反時計回りに動いて…

受信結果を指す

また、時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

- 月に一度は長時間直射日光に当てて5～6時間充電する。
- 光の当たらない場所での長期保管は避けてください。

注意

- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
- 高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	1.5時間	25時間
屋外（曇天）	10,000	14分	4時間	60時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	12時間	150時間
屋内照明	500	4時間	80時間	＊

*最大まで充電する場合、直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、最大まで充電するには明るさが不十分です。

- 充電完了後は、それ以上充電されないように「**過充電防止機能**」が働きます。充電をしすぎて時計の性能や二次電池に影響を及ぼすことはありません。

持続時間の目安

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで:

約6ヶ月(通常使用時)

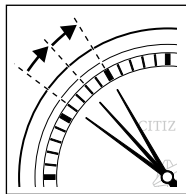
約3年(パワーセーブ機能が作動しているとき)

充電警告(→*14*ページ)が始まってから時計が停止するまで:

約6日

充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。文字板に光を当てて充電してください。

- しばらく充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が6日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

注意
2秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。ただし、その他の操作と電波受信はできません。

▌パワーセーブ機能(節電機能)

ケースの中など暗所に時計を保管し、連続7日間以上文字板に光が当たらない状態が続くと、分針と秒針を自動的に停止して、内蔵電池の消耗を抑えます。このとき針の動きは止まりますが、分·秒は時計の内部で刻み続けています。

- りゅうずの位置が **1** または **2** のときは、パワーセーブ機能は働きません。
- 手動でパワーセーブ機能を働かせることはできません。

▌パワーセーブ(節電状態)を解除するには

文字板に光が当たり充電が始まると、パワーセーブは解除され、時刻·日付の表示になります。

パワーセーブが解除された後は、手動で電波を受信し、時刻·日付を合わせてください。(→***34***〜***35***ページ)

- りゅうずやボタンの操作でパワーセーブを解除することはできません。

現在の充電量を確認する

1. **りゅうずの位置を 0 にする**

2. **Ⓐボタンを1度押す**

秒針の動きで充電量をお知らせします。

「OK」または「NO」を指す	十分に充電されています。
反時計回りに動いてから「OK」または「NO」を指す	充電が必要です。 ***10***〜***15***ページを参考にして、十分に充電してください。

- 「OK」「NO」は電波の受信結果を指します。充電量とは関係ありません。

3. **Ⓐボタンを1度押して終了する**

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

電波受信の結果を確認する

1. **りゅうずの位置を 0 にする**

2. **Ⓐボタンを1度押す**

秒針が前回の電波の受信結果を指します。

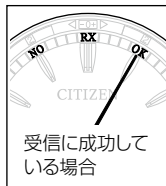
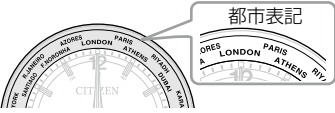
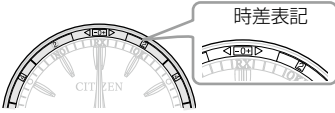
受信に成功している場合

OK	受信に成功しました
NO	受信に失敗しました

受信に失敗している場合は、***32***ページをご覧ください。

3. **Ⓐボタンを1度押して終了する**

現在の時刻に戻ります。

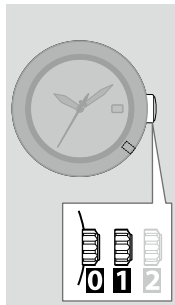
- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

ワールドタイムを設定する

この時計は、協定世界時（UTC）を基準に、都市または時差を設定することで、各地域の時刻・日付を表示することができます。

現在の時刻・日付を正しく表示させるためには、都市または時差の設定が必要です。

- 都市を設定するか時差を設定するかは、デザインによって異なります。

都市を設定するデザイン	時差を設定するデザイン
→*19*、*22*～*25*ページ	→*20*～*25*ページ

都市を設定する

現在の時刻·日付を表示したい都市を設定します。

1. **りゅうずの位置を 1 にする**

秒針が動き、現在設定されている都市を指します。

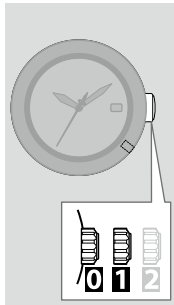
2. **りゅうずを回して都市を選ぶ**

- 選択できる都市は、***23***〜***25*** ページをご覧ください。
- 都市を変更するごとに、その都市の時刻·日付が表示されます。

ニューヨーク（47秒位置）に設定する場合

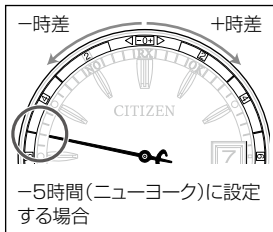
3. **りゅうずの位置を 0 に戻して終了する**

都市を設定したら、サマータイム設定を確認してください。（→***36***〜***41***ページ）

時差を設定する

1. **りゅうずの位置を 1 にする**
秒針が動き、現在設定されている時差を指します。

2. **りゅうずを回して時差を設定する**

- 標準時刻における UTC(協定世界時)を基準として、−11時間から+12時間(標準時刻)の範囲で、1時間ずつ変更することができます。

−5時間(ニューヨーク)に設定する場合

3. りゅうずの位置を 0 に戻して終了する

- 必ず標準時刻における時差で設定してください。サマータイムを反映する場合は、時差を設定してから操作します。（→***36***～***41***ページ）
- 主な都市の時差は、***23***～***25***ページをご覧ください。

主な都市の時差と都市表記一覧

- 設定する都市または時差によって、受信電波が異なります。
- 受信範囲外の都市は標準電波を受信できません。
- ＊ の都市では、サマータイム･標準時刻の表示が連動しています。
- ＊＊ の都市では、サマータイム･標準時刻の表示が連動しています。
- 一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
- 国の事情により都市名や時差が変更になる場合があります。

＜都市を設定するデザインをお使いの場合＞

- 都市表記はモデルによって異なる場合があります。
- 一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- ◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。
（受信時には各局の電波を受信しようと動作します）

主な都市		時差	都市表記または秒針の指す位置			電波局
*	ロンドン	0	London	LON	0秒	ドイツ
*	パリ	+1	Paris	PAR	3秒	
*	アテネ	+2	Athens	ATH	5秒	◆ドイツ
	リヤド	+3	Riyadh	RUH	8秒	
	ドバイ	+4	Dubai	DXB	10秒	
	カラチ	+5	Karachi	KHI	13秒	◆中国
	ダッカ	+6	Dhaka	DAC	15秒	
	バンコク	+7	Bangkok	BKK	17秒	
	北京	+8	Beijing	BJS	20秒	中国

次のページへ

主な都市	時差	都市表記または秒針の指す位置			電波局
東京	+9	Tokyo	TYO	22秒	日本
シドニー	+10	Sydney	SYD	25秒	◆日本
ヌーメア	+11	Noumea	NOU	27秒	
オークランド	+12	Auckland	AKL	30秒	
ミッドウェー諸島	-11	Midway	MDY	33秒	◆アメリカ
ホノルル	-10	Honolulu	HNL	35秒	
** アンカレジ	-9	Anchorage	ANC	38秒	
** ロサンゼルス	-8	L.Angeles	LAX	40秒	アメリカ
** デンバー	-7	Denver	DEN	43秒	
** シカゴ	-6	Chicago	CHI	45秒	
** ニューヨーク	-5	New York	NYC	47秒	◆アメリカ
サンティアゴ	-4	Santiago	SCL	50秒	
リオデジャネイロ	-3	R.Janeiro	RIO	52秒	

主な都市	時差	都市表記または秒針の指す位置			電波局
フェルナンド･デ･ノローニャ諸島	-2	F.Noronha	FEN	55秒	◆ドイツ
＊ アゾレス諸島（ポンタデルガダ）	-1	Azores	PDL	57秒	

電波受信について

電波受信の方法について

この時計は、次の3つの方法で電波を受信します。
また、前回受信した電波受信の結果（受信の成否）をお知らせする機能を搭載しています。（→***17***ページ）

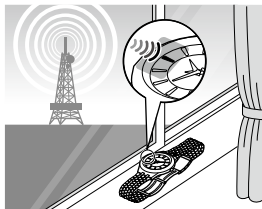
受信方法	概要
自動受信（定時受信）	一日に一度午前2時に自動で受信します。失敗した場合は、午前3時、午前4時にも受信します。
手動受信（強制受信）	必要なときに、手動で電波受信を行うことができます。（→***34***ページ）
復活自動受信	充電不足により時計が止まった場合、十分に充電されると、自動で一度だけ受信が開始されます。

※これらの受信は、りゅうずの位置が **0** のときのみ行われます。

- 秒針が2秒ごとに動いているとき（充電警告中）は、電波受信は行われません。受信の前に充電を行ってください。
- 自動（定時）受信機能と復活自動受信機能を切ることはできません。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。
- 電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

電波を受信するときは

電波を受信するときは時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。

- 電波受信用のアンテナは、この時計の9時位置に組み込まれています。時計の9時位置を電波送信所の方向に向けて置いてください。
- 電波の受信中（秒針が「RX」を示しているとき）は、時計を動かさないでください。

標準電波について

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される標準電波を受信します。受信できる送信所は次のとおりです。

送信所	標準電波
日本　おおたかどや山電波送信所（福島局）	JJY
日本　はがね山電波送信所（九州局）	
アメリカ　コロラド州デンバー　フォートコリンズ送信所	WWVB
ドイツ　フランクフルト南東　マインフリンゲン送信所	DCF77
中国　河南省商丘市送信所	BPC

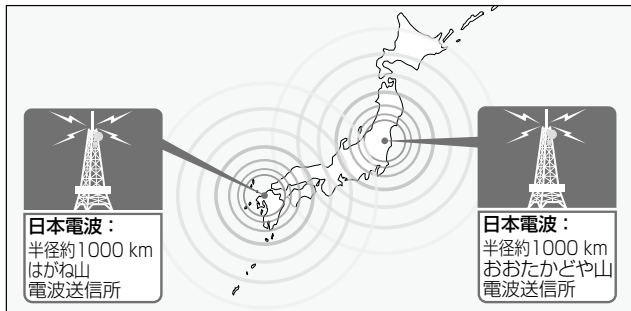
各送信所の位置と受信可能範囲の目安は、***29***～***31***ページの図をご覧ください。

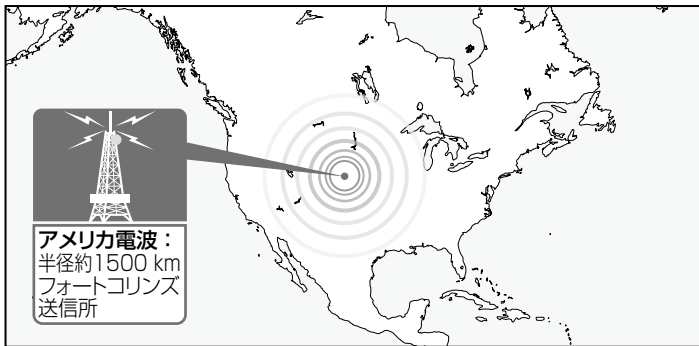
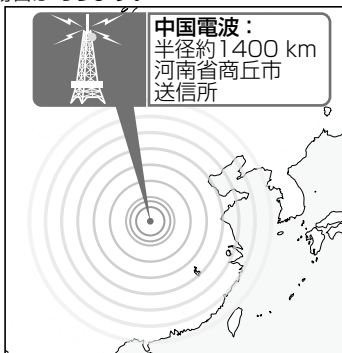
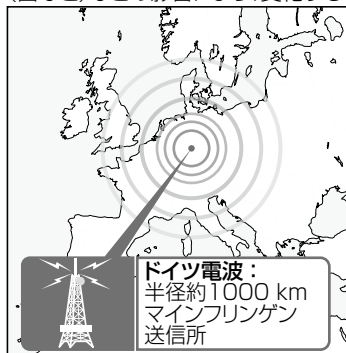
・日本の電波は、自動で送信所を選んで受信します。（受信局自動選択機能）

標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。

日本語

受信可能範囲の目安

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。

次のページへ

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。

電波受信がうまくいかないお客様へ

電波受信には、周囲の環境も大きく影響する場合があります。
お近くに高圧線があるなど、電波受信が困難な場所であることも考えられます。お近くの送信所の位置（→***29***〜***31***ページ）などを参考に、受信しやすい場所を探してください。
その後、送信所方向の窓際に時計を置いて、手動での受信（→***34***〜***35***ページ）をお試しください。

- 窓ガラスに網が入っていると、受信しにくい場合があります。

受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

- 極端に高温や低温の場所

- 乗り物の中

- 電化製品やOA機器の近く

- 高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く
- 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下
- 通話・通信中の携帯電話の近く

電波受信がうまくいかないお客様には、電波送信所の方向を示した地図をご希望によりお送りいたしております。
「シチズンお客様時計相談室」（→***75***ページ）へご依頼ください。

電波を手動で受信する（強制受信）

前回の自動受信（定時受信）に失敗していたり、時刻・日付の表示がずれている場合、手動で電波を受信することができます。

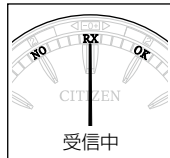
- 秒針が2秒ごとに動いているとき（充電警告中）は、電波受信は行われません。受信の前に、充電を行ってください。
- 電波を受信する前に、受信させたい都市または時差に設定されているか確認してください。（→***18***〜***25***ページ）

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. Ⓐボタンを2秒以上押す

秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。
受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

- 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

受信中

受信に成功した場合	修正された時刻を表示します
受信に失敗した場合	時刻は修正されず、修正される前の時刻に戻ります

受信を中断したい場合

Ⓐボタンを2秒以上押す

電波の受信を中断して、現在の時刻に戻ります。

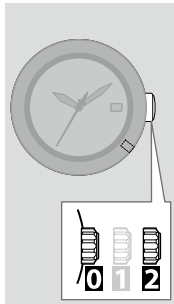
サマータイムと標準時刻の切替について

サマータイムとは、夏の時期に時刻を標準時刻よりも+1時間進めて、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

- サマータイム期間中は、標準電波によってはサマータイム信号が含まれます。
- この時計は、電波を受信すると、サマータイム信号の有無に合わせてサマータイム表示と標準時刻を自動で切り替えて表示します（自動切替機能）。
- サマータイムの実施期間の前後では、どちらの時刻が表示されているか確認してください。

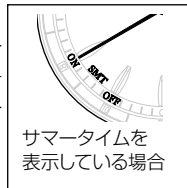
表示時刻を確認する

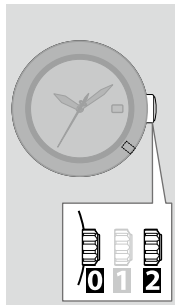
サマータイムと標準時刻のどちらが表示されているかを確認します。

1. **りゅうずの位置を 2 にする**

秒針が動き、表示している時刻を指します。

ON	サマータイムを表示
OFF	標準時刻を表示

サマータイムを表示している場合

2. **りゅうずの位置を 0 に戻して終了する**

表示する時刻を変更したい場合は、***38***ページをご覧ください。

表示する時刻を変更する

1. **りゅうずの位置を 2 にする**

2. **りゅうずを回して設定を変更する**

サマータイムを表示するには

りゅうずを右に回して「ON」を選びます。

標準時刻を表示するには

りゅうずを左に回して「OFF」を選びます。

- 手動で標準時刻を表示させた場合、電波を受信してもサマータイムを表示しなくなります。（→***40***ページ）

3. **りゅうずの位置を 0 に戻して終了する**

＜都市または時差ごとの表示時刻について＞

次の都市または時差はそれぞれの地域内でサマータイムと標準時刻の表示が連動して記憶/変更されるため、個別に切り替える必要はありません。

- 手動で標準時刻を表示させた都市または時差では常に標準時刻が表示され、他と連動しません。

アメリカ電波受信地域		ドイツ電波受信地域	
都市表記	時差	都市表記	時差
Anchorage/ANC(アンカレッジ)	−9	London/LON(ロンドン)	0
L.Angeles/LAX(ロサンゼルス)	−8	Paris/PAR(パリ)	+1
Denver/DEN(デンバー)	−7	Athens/ATH(アテネ)	+2
Chicago/CHI(シカゴ)	−6	Azores/PDL(アゾレス諸島)	−1
New York/NYC(ニューヨーク)	−5		

上記以外の都市または時差では、個別に記憶されます。

自動切替機能を切る

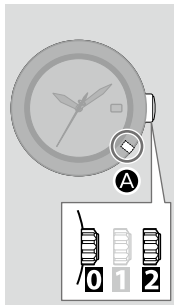
38ページの手順2で標準時刻を表示させると自動切替機能が「切」になり、電波に含まれるサマータイム信号を受信してもサマータイムを表示しなくなります。

サマータイム信号を含む電波を受信するがサマータイム制を導入していない地域では、自動切替機能を切ってお使いください。

自動切替機能を「入」に戻すには

38ページの手順2で「ON」を選び、サマータイムを表示させせます。

- この操作で自動切替機能も「入」になります。
- サマータイムを実施していないときに自動切替機能を「入」にした場合は、電波を受信して標準時刻を表示させてください。

時刻・カレンダーを手動で合わせる

1. **りゅうずの位置を 2 にする**

2. **Ⓐボタンを押す**

秒針が0秒の位置に移動します。

3. **りゅうずを回して「分」を合わせる**

- 秒針が1回転し、1分ごとに修正できます。
- 時刻が午前0時を回ると日付が進みます。
  午前と午後に注意して時刻を合わせてください。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

4. **Ⓐボタンを押す**

時針がわずかに動きます。

5. りゅうずを回して「時」と「日」を合わせる

- 日は時針と連動して替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6. Ⓐボタンを押す

秒針が現在の月と年を指します。

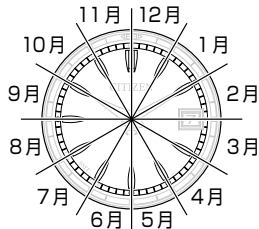
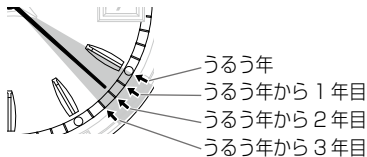
7. りゅうずを回して「年」と「月」を合わせる

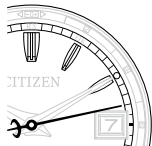
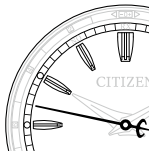
- 年と月は秒針で表示されます。***44***〜***45***ページを参考にして合わせてください。

8. りゅうずの位置を 0 に戻して終了する

時刻·日付を表示します。

年と月の表示について

時刻･カレンダーを手動で合わせるときに、「うるう年からの経過年」と「月」が、秒針の位置で表示されます。「うるう年からの経過年」と「月」を正しく合わせると、月末のカレンダー修正が自動で行われます。

月は、範囲で示されます。上図の実線と実線の間が各月の範囲です。

例：うるう年から経過2年目の4月のとき

各月の範囲内の秒針の位置が、うるう年からの経過年を示します。

左図は、うるう年から3年目の2月を示しています。

左図は、うるう年から2年目の9月を示しています。

うるう年からの経過年早見表

秒針の位置	経過年	年
月の表示範囲の最初の目盛り	0年(うるう年)	2016、2020、2024
1目盛り目	1年	2017、2021、2025
2目盛り目	2年	2014、2018、2022
3目盛り目	3年	2015、2019、2023

基準位置を確認･修正する

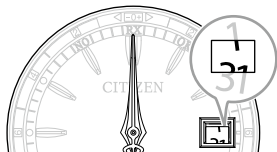
電波を適切に受信しても時刻･日付が正しく表示されないなどの場合、
基準位置が正しいかどうか確認します。

基準位置とは

時刻･日付を表示するために基準としている､針と日の位置のことです。

- 針の位置: 0時0分0秒
- 日の位置: 31日と1日の間

針や日が､正しい基準位置からずれていると､電波を受信しても､時刻･日付が正しく表示されません。

正しい基準位置

1. **りゅうずの位置を 1 にする**

2. **Aボタンを5秒以上押し続ける**

各針と日が動き、現在の基準位置を表示します。

- 針と日が動いている間は、操作をすることはできません。

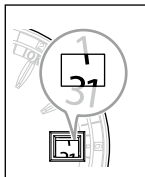
基準位置	次の手順
正しい	りゅうずの位置を 0 に戻して終了する（基準位置を修正する必要はありません）
ずれている	基準位置を修正する（***48***ページの手順3へ進む）

次のページへ

3. りゅうずの位置を 2 にする

時針がわずかに動きます。

4. りゅうずを回して時針を「0時」、日を「31日と1日の間」の位置に合わせる

- 日は時針と連動して替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

5. Ⓐボタンを押す

分針と秒針が動きます。

6. りゅうずを回して分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる

- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。
動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

7. りゅうずの位置を 0 に戻して終了する

基準位置の修正が終了し、時刻表示に戻ります。

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

時計の状態	対処方法	詳細ページ

電波受信がうまくできない

時計の状態	対処方法	詳細ページ
受信可能地域内で受信が成功しない	りゅうずの位置を **0** にする	—
	ワールドタイム設定を確認する	***18*** ～ ***25***
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避けて、時計の9時位置を送信所に向けて受信する	***27***、***32***
	受信が終わるまで、時計を動かさない	***27***
	2秒運針中は受信できません。先に、充電を行う必要があります。	***10*** ～ ***15***
	上記でも解決しない場合は、「シチズンお客様時計相談室」にお問い合わせください。	***75***

<table>
<tr><th>時計の状態</th><th>対処方法</th><th>詳細ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">受信はできるが正しい時刻･日付が表示されない</td><td>ワールドタイム設定を確認する</td><td>18 ～ 25</td></tr>
<tr><td>基準位置を確認･修正する</td><td>46 ～ 49</td></tr>
</table>

針の動きがおかしい

<table>
<tr><td>受信結果を確認するとき、針が反時計回りに動く</td><td>充電する</td><td>10 ～ 15</td></tr>
<tr><td>秒針が2秒ごとに動く</td><td>充電する</td><td>10 ～ 15</td></tr>
<tr><td rowspan="2">全ての針が停止している</td><td>りゅうずの位置を 0 にする</td><td>―</td></tr>
<tr><td>直射日光で、秒針が1秒ごとに動くまで充電する</td><td>10 ～ 15</td></tr>
</table>

次のページへ

時計の状態	対処方法	詳細ページ

針の動きがおかしい(つづき)

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまでお待ちください。	***15***

時刻·日付がおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時刻や日付が正しくない	ワールドタイム設定を確認する	***18 ～ 25***
	基準位置を確認·修正する	***46 ～ 49***
	電波を手動で受信して、時刻·日付を合わせる	***34 ～ 35***
	手動で時刻·日付を合わせる	***42 ～ 45***
サマータイムを表示しない	手動で「ON」にするか、電波を受信してください。	***36 ～ 41***

時計の状態	対処方法	詳細ページ
ワールドタイム設定が正しく、電波受信に成功しているのに、時刻がずれている	サマータイム·標準時刻の表示を確認·変更してください。	***36 ～ 41***
	基準位置を確認·修正する	***46 ～ 49***
昼の12時頃日付が変わる	電波を手動で受信して、日付を合わせる	***34 ～ 35***
	手動で時刻を12時間ぶん修正する	***42 ～ 45***

その他

充電しても、すぐに止まる	直射日光で約5～6時間充電します。それでも、変化がないときは、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	***10 ～ 15***、***74***

時計をオールリセットする

強い衝撃や静電気などにより、時計が不安定な動きをする（針が止まらない、充電されているのに止まったままなど）場合は、時計をオールリセットすることをおすすめします。

注意

- オールリセットする前に、必ず充電してください。（***10***〜***15***ページ）
- **オールリセットすると、時計の設定が次のように変更されます。時計をお使いになる前に、必ず基準位置を合わせて、ワールドタイム設定と時刻合わせを行ってください。**
  - カレンダー：　1月（うるう年）
  - ワールドタイム：都市：　ロンドン
時差：　±0時間（UTC）
  - サマータイム：　全ての都市・時差で「OFF」（自動切替）

1. りゅうずの位置を **2** にする

2. Ⓐ ボタンを**7秒以上**押し続けて、離す

秒針が0秒の位置まで動き、時針と日がわずかに動いてオールリセットされます。

・針が動かない場合は、手順2をもう1度行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1. **基準位置を合わせる**

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。

48ページの手順4以降をご覧ください。

2. **ワールドタイムを設定する**

18～***25***ページをご覧ください。

3. **時刻・カレンダーを合わせる**

・**電波を手動で受信して合わせる場合** →***34***～***35***ページ

・**手動で合わせる場合**

→***42***～***45***ページ

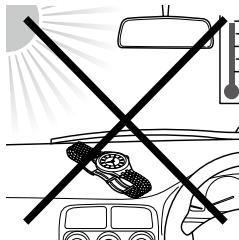
エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。
  例）
  - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
  ※ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
  - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

・ この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除(有料)をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

・ お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

・ この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告　防水性能について

・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
（1barは約1気圧に相当します）
・WATER RESIST（ANT）×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使用例				
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠注意　使用上の注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問合せ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。
  また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質（化粧品など）が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき

・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞

・クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞

・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠注意 時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

• 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2〜3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

• 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

その他の情報

標準電波について

日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究機構·日本標準時プロジェクトのホームページ(http://jjy.nict.go.jp/)をご覧ください。

標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。

時計に磁気や衝撃が加わっても（パーフェックス）

3つの機能を一体化させることによって、衝撃や磁気などの外部要因による針ずれを防止します。

JIS1種耐磁性能

日常生活で磁界を発生する機器に5 cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

衝撃検知機能

時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぐ機能です。

針自動補正機能

一定時間毎に針の位置をチェックし、想定以上の磁気･衝撃･静電気などで針ずれがあったときは自動的に補正し、正しい時刻を保持します。

製品仕様

機種	H240	型式	アナログソーラーパワーウオッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差±15秒　常温(+5℃～+35℃)携帯時		
作動温度範囲	−10℃～+60℃		
表示機能	• 時刻: 時·分·秒 • カレンダー: 日		
持続時間	• フル充電後、一度も充電しないで時計が停止するまで: 約6ヶ月(通常使用時) 約3年(パワーセーブ機能が作動しているとき) • 充電警告が始まってから時計が停止するまで:約6日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池)　1個		

付加機能	・光発電機能 ・充電残量表示機能（充電ランクは表示しません） ・過充電防止機能 ・充電警告機能（2秒運針） ・パワーセーブ機能（節電機能） ・電波受信機能（自動受信/手動受信/復活自動受信） ・受信中表示機能（RX） ・受信局自動選択機能（日本電波のみ） ・受信結果表示機能（OKまたはNO） ・サマータイム設定機能（ONまたはOFF） ・都市設定機能（24都市）または時差修正機能 ・パーペチュアルカレンダー（2100年2月28日まで） ・Perfex（パーフェックス）—JIS1種耐磁性能/衝撃検知機能/針自動補正機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。